

千葉の 大学 おの はな 同窓 会報

編集 千葉大学医学部
おののな同窓会
報 学生編集部
発行所 伊藤忠雄
千葉市中央区 313番地

新刊

医薬学書 看護学書 専門販売
（千葉大学医学部附属看護学校）

メジカル書院

（学校・図書館
病院・御用達）
千葉市中央区八（病院敷）
千葉大学医学部附属
電話 千葉 27943

連合大会開かる

C・P・Cにも重点

目だった協同研究 学内 学外

第四十回千葉医学会と第九回千葉県医師会学術大会は、昨年に引き続きついで連合大会となり十一月十六日、本学医学部基礎新館第一講義室を会場として、盛況のうちに開かれた。

大会は、午前九時鈴木医学部学術大会、午後二時千葉県医師会学術大会の二部で開かれた。午前九時の千葉医学会は、鈴木学部長の挨拶で始まり、「平野博士の業績をしのぶ」と題して平野博士の業績をしのぶ。平野博士は、昭和十一年から昭和二十一年まで、千葉医学会の会長を務めた。平野博士の業績は、昭和十一年から昭和二十一年までの間に、千葉医学会の発展に大きく貢献した。平野博士の業績は、昭和十一年から昭和二十一年までの間に、千葉医学会の発展に大きく貢献した。



北副会長逝去す
ののな同窓会副会長北副氏は、十一月十四日、自邸で、親族の集まりで逝去された。享年八十四歳。遺体は二十一日、法要が行われ、同日午後四時、目黒病院で葬られた。同日午後四時、目黒病院で葬られた。

北副会長逝去す

ののな同窓会副会長北副氏は、十一月十四日、自邸で、親族の集まりで逝去された。享年八十四歳。遺体は二十一日、法要が行われ、同日午後四時、目黒病院で葬られた。同日午後四時、目黒病院で葬られた。

説 千葉医大への遺言

筒井 栄

一、森田教授の御教訓

過年、森田教授をお訪ねした。要件は伊東先生の退職後、後任教授を同門から推す各々分担して教授を歴任し主眼をのべる事になり、また森田教授をお訪ねする事になった。森田教授は、何れもが、行かぬは主眼が果せないので推参した。森田教授は、何れもが、行かぬは主眼が果せないので推参した。

二、従軍での教訓

支那事変から大東亜戦争に従軍した。その前は伊東先生の後光のかけで、そして千葉医大の勢力範囲の中に暮らして、同門から教授に推薦される。同門から教授に推薦される。同門から教授に推薦される。

君の訪問については、悪く思わぬが、夜は私の方から君に聞いてもらえないだろうか。君が教室の先輩である。君が教室の先輩である。君が教室の先輩である。

三輪教授が就任

病院長に



三輪教授が就任

一内科教授が新しく千葉大学医学部附属病院院長に就任された。十月一日、三輪教授が就任された。

人事異動

昇任

○三橋真一 泌尿器科講師から同科助教授に（二面に紹介記事）

○小山武一 第二生理助手から同科助教授に

○内山 曉 放射線科助手から同科助教授に

人事往来

十月七日帰国
○久我哲郎 薬理学科講師
シナプス伝達に関する薬理学的研究のため、西ドイツ、ゲッティンゲン大学薬理学教室に留学、九月二十九日帰国、十月二十九日帰国。

十月十四日帰国
○中山恒明 第二外科教授、台湾医学学会総会出席のため、十一月二十二日帰国、同月二十九日帰国、同月二十九日帰国。

十月十四日帰国
○村山智 薬理学科講師、アメリカ合衆国イリノイ大学に留学、八月二十日帰国。

十月十四日帰国
○鈴木孝雄 小児科教授が出席するののな同窓会も兼任していた。同日は明治三十八年卒、東京。

十月十四日帰国
○渡辺昇平 第二内科助教授、心臓機能に関する研究のため、九月一日渡欧、スエーデン、スウェーデン、スウェーデン。

十月十四日帰国
○田中 稔 婦人科助手から同科講師に

十月十四日帰国
○守康 医動物学教室助手から講師に

十月十四日帰国
○平岡 真 泌尿器科助教授、古川金次郎 婦人科講師、村越善徳 医動物学教室講師

十月十四日帰国
○片山 喬 泌尿器科助手から講師に

十月十四日帰国
○田中 稔 婦人科助手から同科講師に

十月十四日帰国
○守康 医動物学教室助手から講師に

十月十四日帰国
○平岡 真 泌尿器科助教授、古川金次郎 婦人科講師、村越善徳 医動物学教室講師

十月十四日帰国
○片山 喬 泌尿器科助手から講師に

十月十四日帰国
○田中 稔 婦人科助手から同科講師に

十月十四日帰国
○守康 医動物学教室助手から講師に

十月十四日帰国
○平岡 真 泌尿器科助教授、古川金次郎 婦人科講師、村越善徳 医動物学教室講師

十月十四日帰国
○片山 喬 泌尿器科助手から講師に

十月十四日帰国
○田中 稔 婦人科助手から同科講師に

十月十四日帰国
○守康 医動物学教室助手から講師に

十月十四日帰国
○平岡 真 泌尿器科助教授、古川金次郎 婦人科講師、村越善徳 医動物学教室講師

十月十四日帰国
○片山 喬 泌尿器科助手から講師に

十月十四日帰国
○田中 稔 婦人科助手から同科講師に

十月十四日帰国
○守康 医動物学教室助手から講師に

十月十四日帰国
○平岡 真 泌尿器科助教授、古川金次郎 婦人科講師、村越善徳 医動物学教室講師

十月十四日帰国
○片山 喬 泌尿器科助手から講師に

十月十四日帰国
○田中 稔 婦人科助手から同科講師に

十月十四日帰国
○守康 医動物学教室助手から講師に

十月十四日帰国
○平岡 真 泌尿器科助教授、古川金次郎 婦人科講師、村越善徳 医動物学教室講師

十月十四日帰国
○片山 喬 泌尿器科助手から講師に

パロチン時代が やってきました

話題の唾液腺ホルモン

パロチン

老化にパロチン…厚生省から日本の独自の医薬品と名づけられたパロチンです。アメリカ・ソ連・ヨーロッパ各国で注目を集めています。老化にパロチン…間葉系組織の若返りによって老化を防ぐという緒方学説が、毎日新聞社から発表されました。これが、学会からも一般からも大きな反響を呼んで、問合せが殺到しています。

●いま話題のベストセラー緒方知三郎著「いつまでも若く」の抄録をさし上げます。帝国臓器業界紙保へ。
帝国臓器 東京・赤坂区区内



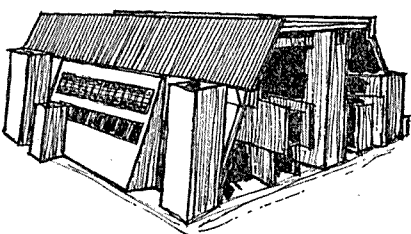
85周年記念講堂

竣工も間近に迫る

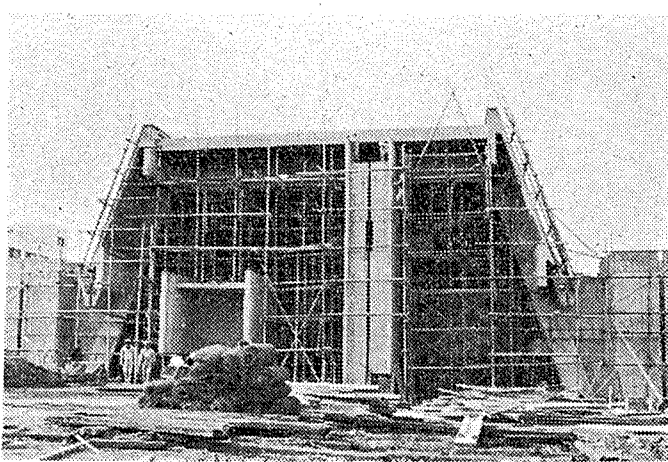
上棟式も終つて

八十五周年記念講堂の工事は、九月上棟式を終り、進行しており、近々竣工のはじまりとなつて、あはれなほどその雄姿を見せはじめた。

工事は昨年二月には竣工の予定である。既ものとなつた。また、建設費も当十二月までに、上下水道、電気、内装、冷暖房の一億二千五百萬の予定が、部工事に入っている。募金が順調に進めば、つづいて、工事現場の整理など、付帯工事を進め、全工事を来年三月頃に終る予定であり、来年度の入学式をはじめ、春に行なわれる第一生理、法医、小児科などの学会に間に合ふ事が期待される。



り、十月のはじめにはコンクリート打を完了。現在、ルーフィングから側壁の鋼板は行われており、工事の九割以上が終了、十



一 記念講堂の正面玄関

建築費の値上がり、内装の充実などにより一億八千万となった。昭和三十六年十一月には、小委員会が発足、募金と建築計画が具体的に進められはじめた。三十七年三月三十日には、地鎮祭が行われ、いよいよ工事に始まり、まず看護婦学生寮の移転が始まった。その間、計画当初の設計(森崇本工務店)に依り、は変更され、竹中工務店に依頼する事となり、その後もかなりの設計の変更が行なわれて現在のものである。

参加者百余名

盛況な上棟式

記念講堂の上棟式は、七月二十日午後二時半から行なわれた。主な出席者は、宮内千葉市長、友納千葉県知事、北原衛生局長、茂手木市議会議長、県医務課長、谷川学長、鈴木学部長及び諸教授など。全出席者は、およそ百余名ほど。

式は、表入口で、千葉神社神式のおはらに始まった。ついで、募金アピールのため、基礎完成からの進行状況の説明などがあり、記念講堂建築関係者などを無事に終えて、上棟式の行事の幕を閉じた。

通余出されたが、東京千葉などから百余名集まり、比較的成功裡に終わった。

まだ低調な同窓会関係

講堂募金

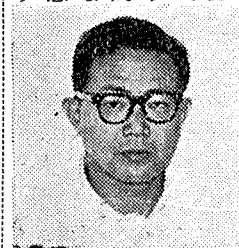
講堂工事の進行につれて、募金の援会からは、友納千葉県知事、宮内千葉市長などの協力により既に費一億八千万のうち、千葉県後六千九百万(目標額九千万)が

アイソトープによる診断など

三橋新助教授

(泌尿器科)

本年、平岡助教授が退職したので、その後任として同科の講師であった三橋真一氏が泌尿器科助教授に就任した。氏は昭和十七年千葉医科大学を卒業、皮膚泌尿器科に入局し、三十五年三月「皮膚疾患におけるビタミンB₁₂に関する研究」によって学位をとり、三十五年泌尿器科が独立すると同科に入り、三十六年三月講師に昇任した。過去、「前立腺結石」についての研究、「膀胱癌の臨床」「男子後天性尿道閉塞」について、「腎部分摘除術」その他のオリジナルをものしている。現在はラジオアイソトープの泌尿器科における診断の利用について探索中であり、若い氏の今後の注目がされている。



御報告

本学部創立八十五周年記念講堂の建設は昨年十二月工事請負者竹中工務店が着工し、その後丁度一年間建設工事は順調に進捗し、十二月には予定通り竣工のはじまりとなりました。多少小さな工事は残るにしても、年内には工事現場等の整地も含め完成する見通しであります。この記念講堂の壮大なる建築を見るにつけ当局者並に地元の方々の同窓を初め全国各地の同窓の方々の絶大なる御協力を深く感謝して止みません。

さて本講堂の建設工事費は一億五千五百萬円で、付帯工事費等を合せ既に趣意書にも示された通り総額一億八千万円あります。

この一億八千万円が募金目標額であり、その二分の一即ち九千万円が医学部が分担し、後の九千万円が友納千葉県知事が会長となり宮内千葉市長が副会長となられている千葉県後援会から御援助を賜わることになっております。申すまでもなく本学部の教職員初め同窓の先生方、在学生の父兄更に本学関係の各病院機関その他関係諸団体、商社、一般有志の方々係ら御浄財の御援助を賜わっております。

なお昭和十年卒業故藤元国雄先生の奥さまからせめて一口でもとの御通信をいただき、関係者一同深く感動しております。御主人様を失い御不幸の中にありながらもこのような御配慮に深甚なる敬意を表わします。

八十五周年記念会事務局

盛りだくさんな内容

本学で日医医学講座

日本医師会主催の日医医学講座は眼科の鈴木教授が「全身病と眼疾患」千葉地区では、今年も本学を会場として講演した。つづいて、医学部の全面的な協力により耳鼻科北村教授が「喉嚨の臨床」を講じ、その後実習見学に入り、十一月十二日、二十一日の両日に行なわれた。これは日医の医師再教育の方針にそって昨年から始められたもので、五年間をもち一期とし、医師会員はこの五年間に一度は必ずこの講座に出席することになっている。本年はその第二期で、約三百名の医師が出席した。なお、この講座は無料で行われ、出席者には終了証書が交付された。会は、十二月九日「癌の病理」「癌の生化学」と題して、その松本教授が合同講演を行なった。さらに、斎藤教授の司会によってC・P・Cが行なわれ、本年度講の三浦教授が合同講演の形で癌についてのその知見を述べた。

疲れ・肩こり・筋肉の痛みに
力いっぱい
●無臭・持続性の新型活性ビタミン
ビオタニン
体力!
三 SANKYO 共

1日25mg~50mg...汗をかいてもニオイません
神経痛には 1日50mg~150mgの大量療法を
25mg錠・50mg錠 各30人 100人 他に 5mg錠・散
81-13 三共株式会社



初代瀧尾教授が教室を創始されたのは大正十二年のことである。当時の瀧尾外科は、今も語りつたえられているように、あまりにも厳しい学問の場であったため、入局しても満足に修業された者は数える程であったといふ。二代中山恒明教授が、病でたおれた瀧尾教授の衣鉢を継がれたのは昭和二十二年春、実に若く三十六歳の時であった。を交えながらも核心は決して忘れた。この間、日本気忙の中にあって恩師の下であらゆる艱難に耐え、青年教授の学問に対する情熱、朝の出動は早く、週三回の通診、学会会長を担ぎ、また、現業でも「動と、苦業を共にする豪放闊達な」を行ない、手術日には十例にも抱擁力によって、入局者は次第及ぶ手術を一人で午前中にやに増え、現在教室員は百名の大、世帯となつてゐる。そして同門の公明会は渾然融和し相互扶助ひつて、早くも十年にな

教室員百人の大世帯

入神の手術に魅せられ



大手術室での山本助教授の執刀

消化吸収」等の相續々大研究を、このような多を交えながらも核心は決して忘れた。この間、日本気忙の中にあって恩師の下であらゆる艱難に耐え、青年教授の学問に対する情熱、朝の出動は早く、週三回の通診、学会会長を担ぎ、また、現業でも「動と、苦業を共にする豪放闊達な」を行ない、手術日には十例にも抱擁力によって、入局者は次第及ぶ手術を一人で午前中にやに増え、現在教室員は百名の大、世帯となつてゐる。そして同門の公明会は渾然融和し相互扶助ひつて、早くも十年にな

るのはな祭開かる

一 応の成功

今年の医学部祭は「いのはな祭」と名をかえて、亥鼻台に勉む、医学生・薬学生・看護学生・X線技師学生・助産婦学生が一体となって「お祭り」を催すことになり、音楽祭（十一月一日）で幕を閉じ、多少の問題は残してはいたが、一応の成功裡のうちに演劇部公演を残して後夜祭（四日）をもってその幕を閉じた。

この二年の低調ムードを脱するた
か。さらに今後の大学祭の一つ
のように一応の成功を持って終
たからであるように思われる。

遠く県外からも

展示会

に「字友字部間の交流親睦を計る」、第三に「千葉市民との結び付きを強める」との二つを掲げ計画され、前夜祭としての音楽会、学内ダンスパーティー・運動会・後夜祭・瘤と高血圧を統一テーマとした展示会と、盛り沢山のプログラムが組まれた。開催が決定され「いのはな実行委員会」発足以来、学生動員の方法などが企画さ

十一月二・三日の二日間「いのはな祭」の一環として、基礎新館の講義室・実習室で成人病の展示会が開かれた。朝十時の開場とともに、熱心な見学者がおしかけ、身近なことから切りだし、かなり詳しく専門的な問答置質問すれば、受けてたつ方の学生の説明も熱がこもっていた。遠く王子方面から観光バスで老人の団体が来たの

を取り、まとめるところ迄出来なかったのは残念である。」と語っていた。わかりやすいという配慮は十分汲み取れたが、紙に書かれた説明が多く、又専門語になったりして、説明する人が少なかった様で、とかくすると素通する人々もあった。大学祭になお多くの学生の積極的参加が望まれている。

い祭実行委員（展示）

高瀬氏の話

意見もあるが「もうこれ以上は学生の良識を待つより外にない」といふ意見もあった。かくして幕を開けてみると例にもれず医学部生の参加は多いと言える状態ではな

展示と同時に血液型判定や血圧測定もおこなわれた。実際に検査を担当した人の一人は「意外と多くの人々が自分の血液型を知らないのに驚いた。又人手不足から資料の惜しみなき御援助、更に守衛の

じと思うが、参加した人なら誰でも大変だった」というだろう。今回のいのはな祭は、学友諸君の非常なフアイト、各教室の先生方

いのはな祭を終えて

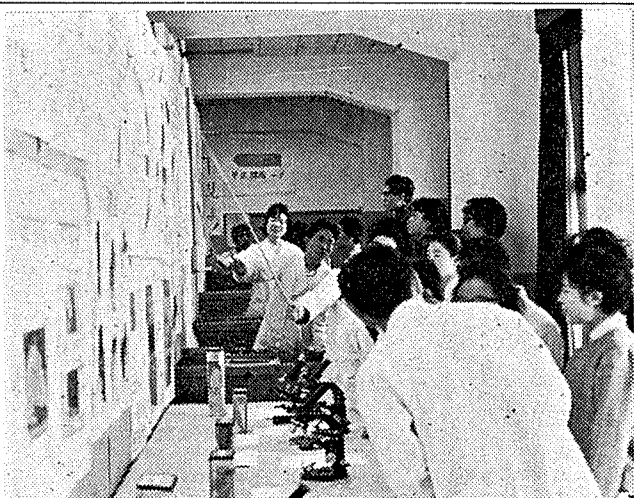
い祭実行委員長 渡 辺 攻

十二月一日の前夜祭(音楽祭) であるが、このために関係各位 よかった」と言えたのは本当に嬉
しきことだ。
十二月二、三日の猶高血闘夕 にも多大の御迷惑をおかけした点に
しきことだ。
それで我々には展示会の経験がな
く、またどうしたとか以前の困

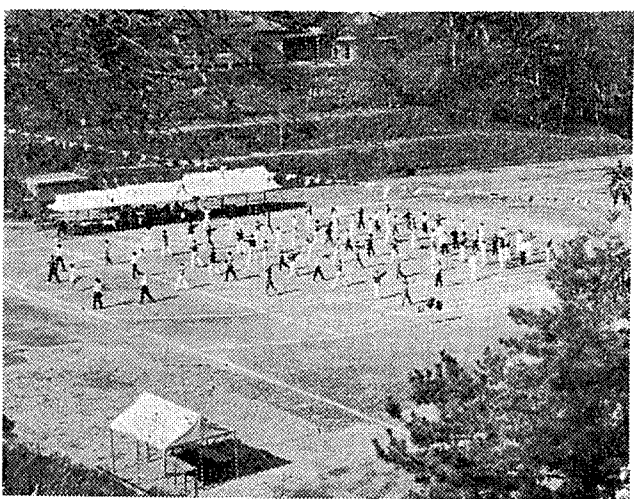
ンスパティ、四日の運動会後夜 ついて実行委員会としてもこの紙
祭、五日の後片付と五日間にわたる「い祭」を顧みて我ながらよく
たつた二十日余の短期間にあれだ
あれだけのことが出来たと思わず
けの展示準備が出来たことは驚
にはいられない。前後夜祭運動会
べきことといつて差支えないで
大学祭をアカデミックにやろうと
いふ声も少なからずあることは事
葉大学となるためにも、展示は毎
いたが、メイン・イベントである 持ったハウプトとそれを盛りたて
実だ。しかし、研究発表の類は現
年行いたいのだ。

八五周年の後、大学祭は諸々の 録ぎを残っていないのである。こ
うした経験不足のため今回の「い祭」に於て相当な混乱を経験した
以上のことからも、また市民の方
々にも親しまれ、その役に立つ千

展示は、テーマその他は夏休みにみて協力一致連日夜遅まで準備に行われている学生CFCのようから決っていたとはいへ、実際に奮闘してくれた学友の並々ならぬ新形式を取ることも可能であつた、亥鼻台の学友の親睦交その準備に取りかかったのは十月努力の結果であつた。こうしたきとに角、大学祭は年に一度の祭典流という点に於て、理学部が展示に入ってからであつた。これは「一つの努力の間、多くの不平・不満、多くの学友がより気楽に参加に参加できなかったことは非常に祭に主となるべき学友の立ちも又出たが、二、三日の展示会当出来、皆なで一つのことを成し残念なことではあつたが、反省会遅れが大きく原因していることは目の二〇〇〇人を越す観覧客を迎それ全一緒になって楽しむことの」の「後すべ、」来年こそは共に」と反省会でも明らかにされたといへて、その努力は報いられた。当出来るような要素が必要ではないという具体的活動が学と理学委員



(上) 学生の説明を熱心に聞く人々(肝臓ガン会場)



(下) 閑散とした運動会

飛び入り出演も

音 楽 祭

▼音樂祭

いのはな祭の前夜祭として二日夜に千葉市教育会館で開催された。医学部・薬学部看護学校の音楽グループが参加、合唱・バンド演奏をはじめ千葉市内の葛城中学・千葉青年合唱団の賛助出演等盛り沢山のプログラムが組まれ、金賞の合唱をもって会を終った。

▼後夜祭

運動会に引きつづき夕刻からサッ

いのはな祭」は、盛大そして二

吉川氏の話

い祭実行委員（催し）

初年度の後夜祭の企画がこれた

け盛況に終ったことで良い前例を

作ったことは大いに意義のあるこ

とである。これが恒例の催しに

なることである。

▼後夜祭

の合唱をもって会を終った。
▼かなり充実した会であったが、学生の参加が少く客席は八〜九分の一しかいなかった。
運動会に引きつづき多刻からサッカー場にて即成のステージ・テント張りの売店をもろけ開催された。
「いのはな祭」は、盛大そして一応の成功をもつて終りました。私達にとっては初めての五本立ての

2000.0000 (2000.0000)

新装の記念講堂が解決してくるであらう。(二)には展示の準備に時間がかかり、音楽会に参加できなかった者が多かったことにある。準備の時間をもっと必要か。手を受けてい

れたという藤間勘花師匠(目舞)とその門下生の方々の飛入り出演があった。師匠は元●後発祭では大いに学生の意気な踊りを披露し万雷の拍手を受けた。

木学部長・野

ある場面

トラックを作り行なわれた。実行
委員会の苦心の程がうかがえる、
いかにも目と鼻の先で、
アイヤールの回

いたが、参加者が

加者が佐藤であり又藤野者であるといつた様相であつた。恒例のマラソンは、学四の林 学氏（一立）をはじめ四位までサッカー部

剖代表の高野・島田岡先生が
奔走され第二解剖の若きを示
された。又事務の課氏は普断
調に達した。

福田教授・小林教授・野中教
授による踊りも飛び出し最高

本学二度目の優勝

第六回東日本医科体育大会

大行事でした。かも、医学部だけのものではなく、いのはな丘に集る学生皆なで力を合せて計画し、そして実行運営した大行事でした。これに参加した人は殆どの人か、これを良かったと思ひ、またどうしてこんなに楽しいものな実際にやる機会を無為にして来たものか。と我から不思議の気持ちを抱きえなかつたことと思ひます。この程左様に成功を遂げた「いのはな祭」だったのでないでしょうか。

全く知らぬ顔をして通して来た学友の中には、大変な損をしたということを今、非常に悔んでいる方も居ることと思ひます。……とは言つても、初めてのことであつてみれば種々手の尽せなかつたことはあつた様です、学友間の又そ

の他での対人關係のむづかしさ、そして又、医学を全然知らない人に分らせようとする苦労、PRのむづかしさ等々、運営していく面での苦労は一通りのものではなかつたことと思ひます。しかし考え

てみれば、その様な苦労は、決して損になるものではないと確信します。そして又、続けてや

て行くことによつてもっとスマー

トに成功させうる様にもなることと思ひます。それこそ何も手出しをしなかつた学友は、残念で仕方がない事と思ひます、参加した学友は、貴重な経験を積んだわけ

です。そして将来、真にいのはな丘の金学友の貴重な体験の一頁を飾る「いのはな祭」になったらなあと考えます。

クラブ便り

国体で優勝

勝俣(学二)

予選リーグ一位で決勝進出
決勝 千葉2―0信州大
▼バトミントン部
○第七回対金沢大医定期戦
(九月二十二日)
千葉3―2金沢

先般山口県に於て開催された、秋季国民体育大会に弓道部門の千葉県代表に選出され参加した、勝俣(学一)は一般男子団体(三名以下)優勝、

○第一回関東医科学生バトミントン連盟リーグ戦男女とも優勝。

(男子) 千葉5-0 日本医大
千葉5-0 順天堂大
千葉4-1 横浜市中大

○近由に優勝した。
○東医医科大学弓道大会は十一月十七日本学に於て開催され、総合優勝をとげた。又個人でも一位（勝俣）、四位（内海）、五位（小泉）を占めた。

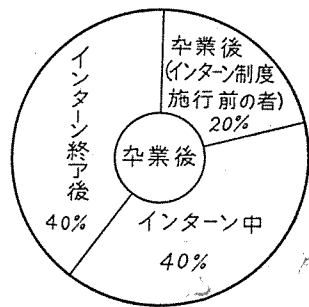
サッカー部好調

（女子）千葉3—2東京女子医
▼卓球部
秋季医大リーグ男女とも第二位
▼硬式庭球部
第一回関東医歯薬女子庭球大会優勝。
千葉5—0順天堂
千葉5—0慶応

○東日本国立医科大学でも優勝 （十一月十六、十八日）	千葉3—1 順天堂大 千葉3—1 日本歯科大 千葉2—1 東京医科歯科	秋季関東医科大会トーナメント 男子第四位	千葉3—2 東邦
▽硬式野球部	▽準硬式野球部	▽硬式野球部	関東医科大学リーグ戦第三位
関東医科大学リーグ戦第三位			

特集

分の興味と適性、それに経済的
条件をマッチさせるにこうした
とはない、ただ経済的にめくま
れなくとも、これにあまりこた
わらない方がよいという。「苦
しくとも アルバイトの 道があ
る」「経済面を度外視してもく
いっばいぐれになることはない。
二〜三年たってからでもやりな
おしがきく」からでもある。そ



基礎、臨床とも同じ傾向

専門科目を決定する動機と同じように決定する時期も人によつてさまざまなこととは当然であるが、それでもある傾向は示すことができる。

インターンを除いた卒業生のアンケートによると、約四割が医学部入学前または在学中に、残りの約六割が卒業後に決定している。そしてこの比率は、基礎と臨床に分けてみても、ほとんど変わらない。またこれを昭和20年を境にして、20年前と20年後を比較してみてもほとんど変わらない。

また、入学前、在学中決定者の決定時期をさらにくわしく追つてみると、学部四年というのがさすがに最も多く、入学前、在学中決定者の約四割五分を占めている。しかもこれは臨床、基礎ともほとんど

こういった傾向は、明らかに大学における各科目に関する知識の修得、さらにはインターン時における経験がその興味などを形成する上に大きな影響を与えていることを示していないだろうか。

また、同時に、このことは、医局の問題や経済問題をかみあわせた場合とくと慎重にならざるを得ない面もうかがわれる。

とちうに しようか

進む方向

“バクゼン” とではなく
よく知った上できめる

あるいは構造か機能が、現象が目立たなくともじゅっくりと仕

(2) 教室又は医局に入るとき ふうふうきめないこと、きめては、教室又は医局の指導者の人 入局したあとでも、いやなら選

間的な関係もよく観察すること
また一面、逆説的な言い方だが
「専門課程進学と同時に決めて
後につけ加えておこう。」

また、學問に専心したと云ふのみで、
學問の仁道になつてゐる
みて、もう一つおけはよか
つたといふのは多々みられる。
例えば「寄生由学では病理学
生化学などの知識が要求されるの
で学生時代又は卒業後二三年こ
れらの學問をみっちりやつておけ
てくる消極的な精神状態である
ように思う。従つて積極的に人間
關係を改善して自分の属する科や
みんなをよくしていく以外に道はない」とという意見もでてゐるのだ
が……。

また、不満といったものの中には、自分の属する科が一般的にも、又医者仲間の間でも理解されない点に向けられている場合がある。例えば「社会とはいわず、せまく医学生、医師に対しては精神科の認識不足に不満を持ちます」、医学部、医師である前に考えなくてはならぬことを放り出ているように思われる。

基礎か臨床か、又は臨床の中でも外科系か、内科系かといった大きな見当は全部がつけている。しかも、注目すべきことは、経済問題など自分の純粋な気持ちを曲げるようなファクターを取り去ったときにはほとんどの人が、主に基礎科目だが、はっきり専攻したい科目をいい切っている。

「医局内の事情」「教授先輩を全うする」「医局が自分に合致してそのばせるかどうかということ」と「何をやっているか」ということ。また、「一方二方三

男性と平等に活動を

勤務などに悩みも多い

女性の

勤務などに悩みも多い

合の迷った面についてみると、ナ部分の人が特になしで、婚約者や既婚者の人はやはり「忙しくて家庭と両立しないのではないかと迷った」とある。

医局事情に关心

大部分が試験前後に決定

（神祕料）といふ問題までおれ、このへんの選択のむずかしさを伝えよう。

いままで、医事又は研究にたずさわっている先輩についてみてきたが現在、この問題で目下患案中の人が多いと思われるインターン生はどういう状況かみてみよう。

一方、これらの人が決定に当たって最も重点をおいているのは、多くは臨床問題と学問的興味という面

医学文化総合誌

メディカル文化

定価 350円
〒 70円

年間予約購読料 2,100円
隔月発行

株式会社メディカルカルチャー
東京・中央区日本橋本町4
tel 661-0685・0727・1563

話題 慢性関節リウマチ

はじめに..... 本間 光夫
リウマチ熱と慢性関節リウマチ..... 大島 良雄
慢性関節リウマチと骨関節炎..... 松本 淳
慢性関節リウマチとアレルギー..... 大高 裕一
リウマチ因子..... 勝 正孝
リウマチをめぐって..... 大国 真彦・景山孝正
| 佐々木智也・本間光夫

進歩と意見 補体..... 西岡久寿賀
そのほか ガンと血栓症／加瀬正夫・抗真菌抗生物質
／新井正・ブラック法／三浦悦二・胃冷却法／井 実

益々好調・トップを切って躍進！

日本医事新報

毎週土曜日発行
B5判 百數十頁
面一部90円 千12
力月分1150円(千共)

常に新らしき医学の動向を知るために
40年の経験を傾倒した臨床医学の結晶

压倒的好评・充实无比

東京都中央区銀座東 2-11
TEL(541)3702-3 振替東京 25171

日本医事新報社

医学文化総合誌

メディカルカルチャ

vol.5／no.6
(12月10日発行)

定価	350円
〒	70円
購読料	2,100円
	隔月発行

株式会社メディカルカルチュア
東京・中央区日本橋本町 4
tel 661-0685・0727・1563

学 内

にしる食糧難のために大学

卒業したので
わたしも一男一女のパパとなり、
頭髪も大抵うすくなつてはきた。

岩間定夫

が、最近には肺外科志望者が激減しているらしく、新卒で結核をやる人がほとんどないと聞く。今に我々も「こつと」品的価値が出るかもしれない。同期の中で結核専攻者は、現在少いのではなからうか。清水にきて五年たったが、東京をはなれると、東京にも千葉にも気軽に行くチャンスはなかなかない。クラス会が今年あったが、仕事の都合で行けず、清水人になりつつあるが、この病院にきた

あり、清水にきたためか、たまたまにみたこともない。たまたまや不便で、町に行くにしてもはタクシーのやっかいにならず病院裏の公舎で夜に家庭サービスといつたづいてる。

清水近辺には千葉大卒が多く、あのな会が年二回開く。当日は会員がいつも一二

まり、千葉から教授を招き、いつも氣勢をあげている。

生生活が多
 開かれ
 十七名集
 迎へて
 交通がや
 善を實際
 なたしたちの大学生活は終戦前
 後の最も苦しい四年間だった。最
 も不幸な時代の学生だったと人は
 いうだろう。入学した昭和十九年
 十月はすでにわが国に敗戦色の漸
 く濃い時だったし、卒業した昭和
 二十三年秋はまさに敗戦後の混沌
 の真只中だった。空襲のためしは
 ば中断された講義、ひどい衣食住
 生活、二度にわたる学制の變転、
 基礎教室の罹災、戦後忽然として
 おきた学内民主化運動など当時の
 エポックを回想すれば、確かに慌
 し、苦しい時代だったと思う。そ
 の後のわたしの十五年が静かな陽
 光の中の生活だったとの印象が強
 いことから、それを認はしなけれ
 ばならないだろう。多忙な雑事
 に追われて数年前のことでもさへ
 忘却して毎日を送っているわたし

坂正紀

▲北海道茅部郡森町字御幸町一四
一。北海道森保健所長。

▲今日のわたしを創ってくれた千葉医大という輝かしいバックと親しかった学友に深い謝意をささげたいと思う。

▲付記 なお学外からこの他に西村文夫先生の原稿が締め切り後にきましたので、次号に掲載します。

一族をひきつれて東京をはなれて清水にきてはや五年もたつてしまつた。卒業後の一時代は肺結核の外科療法が一大進歩を示した時であり、わたしも昭和二十七年から

勤務して
結核病院
に胸病疾
を患え、
本平のふ
りから奮
闘して、
千葉には
無沙汰し
ているが、
紙面をか
りて、元
氣で毎日
を送って
いること
をお伝え
するしだ
いである。

▼静岡県清水市宮加三。静岡県立富士見病院外科医長。

苦しかった時代

に突然編集手は十数年昔の多摩台の頃の生活を回顧する機会を与えた。そこには苦しかった印象はひとつとしてなく、ただよく学んだ日々だったという印象だけが残されている。不思議なようでもあり

○社医研もつくった。吉田(亮)、東条、中島(博)、広瀬(震)、窪田(金)、吉岡(宏)、宇佐美、山下など多勢いたなあ。

○愛わったところで長谷川の映画評論。これはとうとうちがひ本職になっちゃったね。

○名物男といえは小田(松)、伊藤(宏)、宮嶋、谷など一風愛わった風格だった。一日に三回廻るといふ髪の名原などもね。

○これは、名前を秘すが、三角定規で自分の一物のメツシングをした研究熱心なもののいた。

○銘太伝はきりがいいから、はしよるとして卒業後のことに移ろうか。

○眼科以外の全教室に残った。一時は四十人以上いたと思う。

○大学に残っても残らなくても、それぞれに活躍していて、久しぶりに言うに楽しいね。

○堀江、鵜村の努力で名簿が完備しているから、よくわかっていいよ。分布も北は北海道(坂)、南は九州(吉牟田)と広いね。

○クラス会のほかに特徴じやないか
そう、これだけ色んでも尋ねてみよ
鈴木(隆)、西畑は鈴木(オタマ)た。一二月に二現在をお綴りい
在京のものはほと
気がねなしに愚問
いふんと勉強させ
今度は目立の茂村
でできるだけ方々へ
もぐらもだんだん
の目を見て……
リヒトシヨイはな
土奎とれば龍とな
来年はタツの年だ
大いにハッスルし

鷹岡会を持っていたのもわれわれな。
 色々な方面に人がいるんだから、なうというのが始まりだね。
 波田野らが発起人だね。第一回ジャッキの姿態について」だった回位で……..
 林などのおかげだね。在葉、んど喋らまわっている。
 を発せるのがいいね。お互いずつていたんだね。
 の所でやるんだってね。
 田かけて皆の話を聞きたいな。
 経験談を積んでくると、そのその日くなるか。
 ね？
 ね。
 ！

○酒屋さん。最後の講義でね、交通事故の少年の臨床講義だった。駿をしていた。

○中山さんも。当時はハッてなもんで、せっせとやってたよ。

○眼科の伊東さんはきれいな図を画いたな。中学校みたいになにに解りよかった。

○わからねえのはオトだったな。

○試験じゃあなんといつても森田さん（現名誉教授）三科目全通った奴が不思議な位だった。

○「よくみると、エビテルが連う」なんてね。

○かなりシボラタようなけど、こちらにもサムライはいたな。

○石川さんにとられたのがいたよ。

○そうそう、石川先生の前で「医長はだれですか」って聞いたんだ。「ワシじゃ」と六喝一声だった。

○卒業試験で、「病院の第二講堂はどこだ」と聞いた奴もいたし、「あれが教授か」なんていったのもいたし。

○解剖でぎ。臍の穴をきしてナーゼンヘーレといったのもうて大笑い。

○だれだい。お前か。

○この中にはいないことにしよう。

○運動の方面では。

○バスケットの伊藤(和)、吉田(作)、中島(博)、野球の西(小)、小林、鈴木(恒)、サッカーの戸沢、まバレーの鈴木(隆)、中村(敏)、ピンボンの佐藤(敏)、剣道の木村、大宮、柔道の石崎、市川。まだないが。

○伊東(宏)らが水上部というのを始めて、勝山寮で合宿をしたことがある。松村、相原、小出、宮崎、萩原も一緒で、戦後寮委員のできる一年前だった。

○文化方面は。

○千葉文学というのをつくった。表紙を井上が書いてね。四号位までは行つたろう。糸山、多賀谷、五ノ井、山口、和田(寛)、斎藤(彪)、小倉、萩原などがいたね。この人達の中には凡秋さんの俳句をやった

○医者にならなかつた。

○長谷川がクラス中タートして押しラメ。

○平田で奴がいたよ。してきだよ。

○石川(洵)は医者。の工場長さんだぞ。

○外遊のハシリは堀。洋へ行っている。

○シブドクターと。

○フランスは小倉、リ力は多いな。

○横田(俊)が自衛博、中村(昭)。

○今行っているのが、手紙がほいといこ

愚問合

たのもいぜ。
で一番有名な。シナリオイ
押されもしない。
よ。アメリカの兵隊になって進駐
になってからやめたな。大森電機
だ。
江だな。昭和二十六年九月に南水
して山本（直）が北米、カナダ。
ドイツが萩原、ソ連が太田、アメ
隊から、他に吉岡（勇）、中島（
）、市川、黒塚、広瀬（輝）、野坂
波田野、麻生、ここらあたりから
つた。

愚問会について

健保適用
37.10.1より

ブドウ球菌感染症に

用・新合成ペニシリン

アシリン-V

ーV (メチルフェニルイソキナゾリルペニシリンナトリウム)

◆内服用(錠剤・カプセル)・筋注用

有製薬株式会社 東京都中央区日本橋本町2-7



フクダ 心電計



トランジスター心電計
DR-1T
WEIGHT 6.5 kg

フクダ医療電機

株式会社 東京都台東区

池ノ端七軒町七番地

TEL (828) 2121~4

耐性 ブドウ球菌感染症に

健保適用
 37.10.1より



内服用・注射用・新合成ペニシリン

スタフシリン-V

STAPHICILLIN-V (メチルフェニルイソキサゾリルペニシリンナトリウム)

◆内服用(錠剤・カプセル)・筋注用

[文献進呈]

萬有製薬株式会社

東京都中央区日本橋本町2-7

営業所